



KPMG Web seminar

ロックダウンに伴う会計・監査セミナー

February 2021 / Global Japanese Practice KPMG in Thailand

ロックダウンに伴う会計・監査セミナー

本日の予定

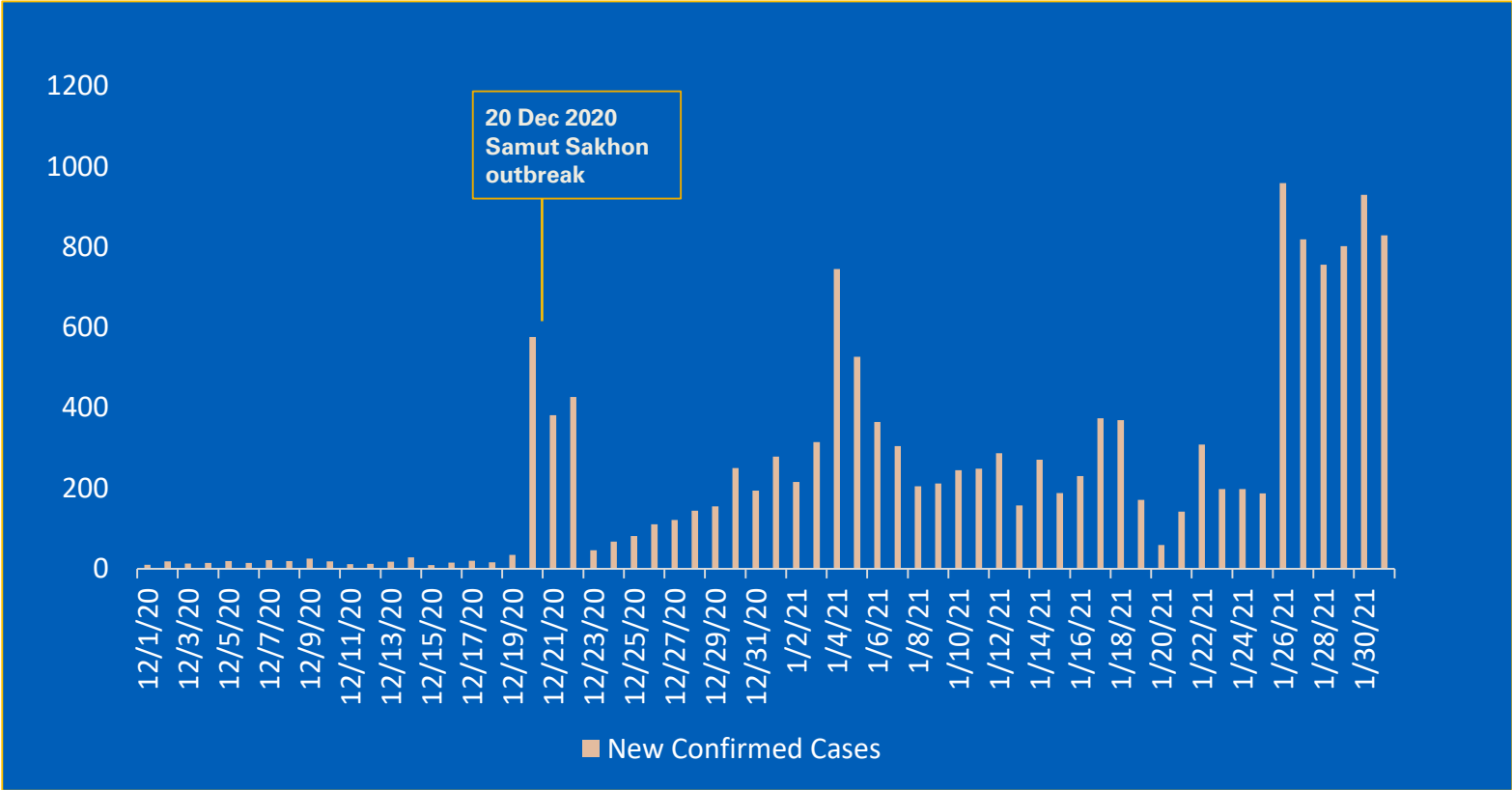
時間(タイ時間)	項目	講師
13:00	タイのCOVID-19の状況	三浦
13:10	ロックダウン下での監査トピック	中島
13:25	ロックダウン下での会計トピック	宮田
13:55	まとめ	三浦

COVID-19 : Thailand Situation

Number of new COVID-19 confirmed cases in Thailand (Dec 2020 – Jan 2021)

The new wave of COVID-19

- Starting from 20 Dec, the number of new COVID-19 confirmed cases in Thailand has skyrocketed after months of calm causing authorities to issue urgent control measures, especially in Samut Sakhon province.
- Thailand ranks 120th on the global list of most cases.
- The government will continue “active case findings” in Samut Sakhon and several provinces across the country.



Source: [Department of disease control, The Nation](#)

COVID-19 : Thailand Situation

Government measures to control COVID-19 starting from 1 Feb 2021 - Five categories of control zone are being applied.

Maximum and strict control zone (dark red zone) – Samut Sakhon

Reopening markets, with customer numbers limited and social distancing; restaurants, closing time 9pm and no alcohol; shopping centers and department stores, closing time 9pm, business premises and hotels with disease control measures in place and tracing details of all visitors.

Maximum control zone (red zones) - Bangkok, Samut Prakan, Pathum Thani and Nonthaburi

Reopening are restaurants for dining-in with social distancing, closing time 11pm and no alcohol. Meetings, seminars and donation events can resume, with attendance limited at 100 people, and no alcohol or dancing. Shopping centres, department stores, malls, supermarkets and convenience stores can reopen as usual but without promotional activities.

Migrant workers will be required to use the MorChana tracing app. Their transport must be approved by local communicable disease committees.

Control zone (orange zone) – 20 provinces are Kanchanaburi, Chanthaburi, Chachoengsao, Chon Buri, Chai Nat, Trat, Tak, Nakhon Nayok, Nakhon Pathom, Prachin Buri, Phetchaburi, Rayong, Ratchaburi, Lop Buri, Samut Songkhram, Sa Kaeo, Sara Buri, Suphan Buri, Ayutthaya and Ang Thong

Meetings, seminars, parties and donation activities can be organized with tracking and check-in and checkout software application not exceed 300 attendees. Entertainment places will reopen. Dining-in, sale and consumption of alcoholic drinks will stop at 11pm. Music performances are allowed, but dancing is prohibited.

Close surveillance zone (yellow zone) - 17 provinces are Kamphaeng Phet, Chai Nat, Chaiyaphum, Chumphon, Nakhon Ratchasima, Nakhon Sawan, Narathiwat, Buri Ram, Prachuap Khiri Khan, Phangnga, Phetchabun, Yala, Ranong, Songkhla, Sukhothai, Surat Thani and Uthai Thani

There entertainment venues can open until midnight. Restaurants will observe social distancing and close at midnight.

Surveillance zone (green zone) – 35 provinces are Krabi, Kalasin, Khon Kaen, Chiang Rai, Chiang Mai, Trang, Nakhon Phanom, Nakhon Si Thammarat, Nan, Bung Kan, Pattani, Phayao, Phatthalung, Phichit, Phitsanulok, Phrae, Phuket, Maha Sarakham, Mukdahan, Mae Hong Son, Yasothon, Roi Et, Lampang, Lamphun, Loei, Si Sa Ket, Sakon Nakhon, Satun, Surin, Nong Khai, Nong Bua Lam Phu, Amnat Charoen, Udon Thani, Uttaradit, Ubon Ratchathani

There entertainment places can reopen, sell and serve alcoholic drinks, organize music performances and allow dancing with social distancing. Restaurants can reopen with social distancing.

Source: Bangkok Post



ロックダウンの下での 監査対応

中島 悠史

Associate Director, Audit

ロックダウンの下での監査対応

2021年1月3日に、タイ政府は、バンコク都を含む28都県を高度管理地域(レッドゾーン)に指定しました。その後、レッドゾーンの指定に変動はありますが、KPMGタイは、以下の対応を行っています。

項目	監査上の対応
往査	バンコク都以外へは往査せず、バンコク都についても往査は極力控えています。電話・WEB会議で密にコミュニケーションを図り、ソフトデータ等により入手した証憑類の確認により監査手続を実施しています。
棚卸立会	以下の代替的な監査手続を実施しています。 <input type="checkbox"/> WEBアプリ等を用いた動画中継による棚卸実施の確認 <input type="checkbox"/> 関連資料の閲覧 非常事態宣言の解除後、棚卸立会を実施し、期末日までのロールバック手続（期末日以降棚卸実地確認日までの入出庫記録の確認手続）を実施する場合があります。
監査報告書	場合により、監査報告書日の延期をお願いすることもあります。



ロックダウンの下での 会計トピック

宮田 一宏
Partner, Audit

ロックダウン下での会計トピック 一覧

棚卸資産

- 滞留在庫の評価
- 低価法の評価 (NRV)
- 遊休費用の取扱い

減損会計

- 収益性が低下した資産の回収可能性の評価

金融商品

- 滞留債権の回収可能性の評価
- 投資先の財務状況悪化による有価証券の評価減

退職給付会計

- 早期希望退職制度に係る会計処理

税効果会計

- 繰延税金資産の回収可能性

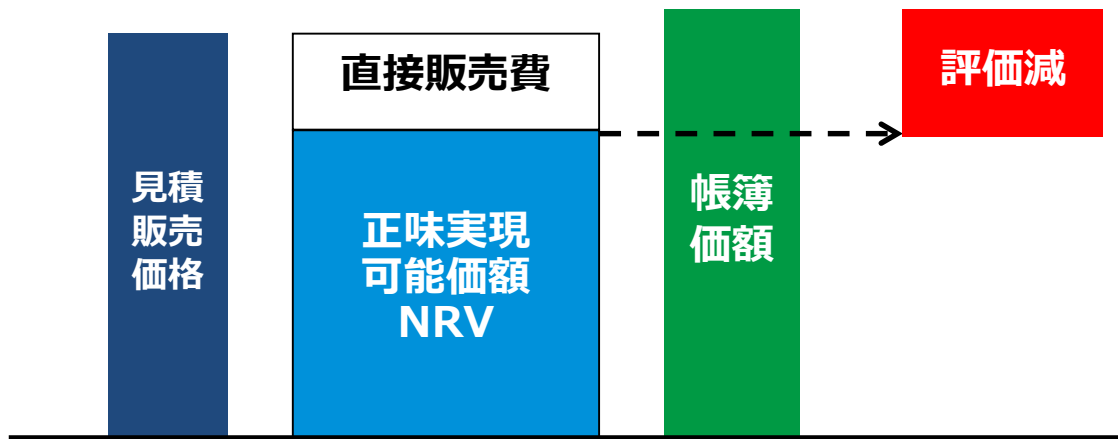
ゴーイングコンサーン

- 継続企業的前提

棚卸資産 評価

通常の販売目的で保有する棚卸資産の評価

評価損発生原因：市場の需給変化

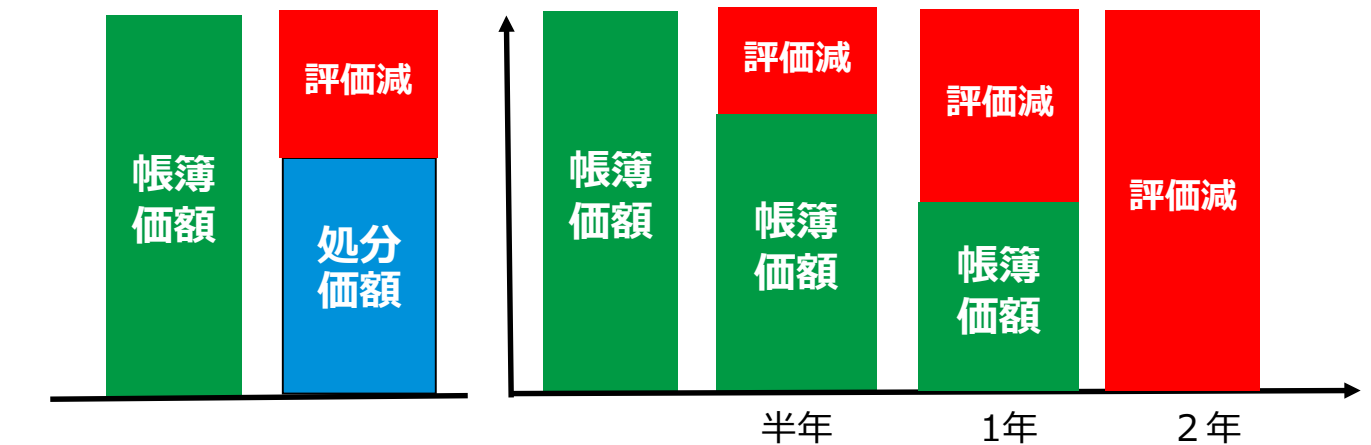


正味実現可能価額 (Net Realizable Value)

通常の事業の過程における見積売価から、完成までに要するコスト（仕掛品の場合）及び販売に要するコストの見積額を控除した額

営業循環過程から外れた滞留または処分見込等の棚卸資産の評価

評価損発生原因：品質低下、陳腐化



帳簿価額を処分見込価額
まで切り下げる方法

一定の回転期間を超える場合、
定期的に帳簿価額を切り下げる方法

棚卸資産 遊休費用

固定製造間接費

生産量の変動に関係なく、比較的一定して発生する製造間接費

- 製造工程で使用される工場の建物・設備及び使用権資産の減価償却費及び維持費
- 工場の事務管理費
- (場合によって) 工場に係る人件費



要求される会計処理

- 固定製造間接費の配賦は、生産設備の正常生産能力に基づいて行われる。
- 各生産単位に配賦する固定製造間接費の額は、生産水準の低下や遊休設備の存在によって増額することはない。
- 配賦しなかった固定製造間接費は、発生した期間の費用として認識する。



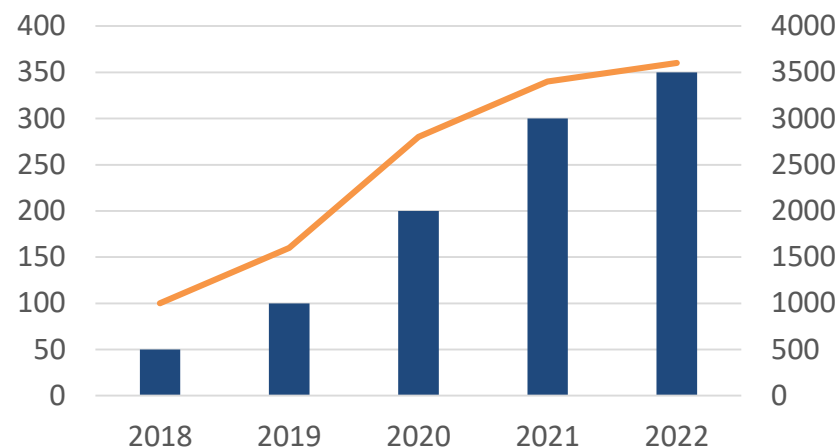
減損会計 概要

減損

減損処理とは、投資金額の回収ができないと判断された時点で、回収が見込める金額まで固定資産の価値を下げる会計処理

コロナ禍の景気停滞で、減損の兆候の有無の検討が必要な企業が増えることが予想されます。

当初事業計画

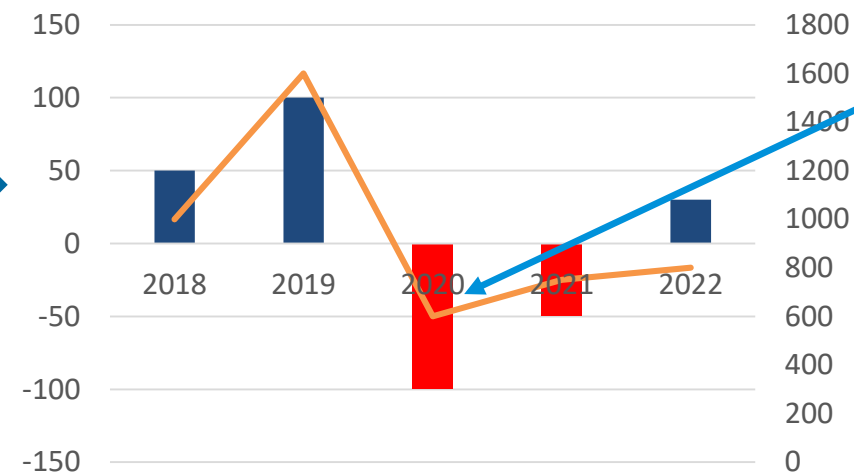


■ 営業利益 — 売上

経営環境の悪化
売上大幅減
営業赤字化



事業計画の修正



■ 営業利益 — 売上

減損の兆候の検討
資産の回収
可能性の再検討

減損会計 回収可能価額の算定

回収可能価額

【定義】回収可能価額とは、処分コスト控除後の公正価値と使用価値のいずれか高い方をいう
この2つのうち1つでも帳簿価額よりも高ければ、資産は減損していない

処分コスト控除後の公正価値



使用価値

当該資産を使用することにより期待されるネットのキャッシュフロー

いずれか
高い方
=回収可能価額

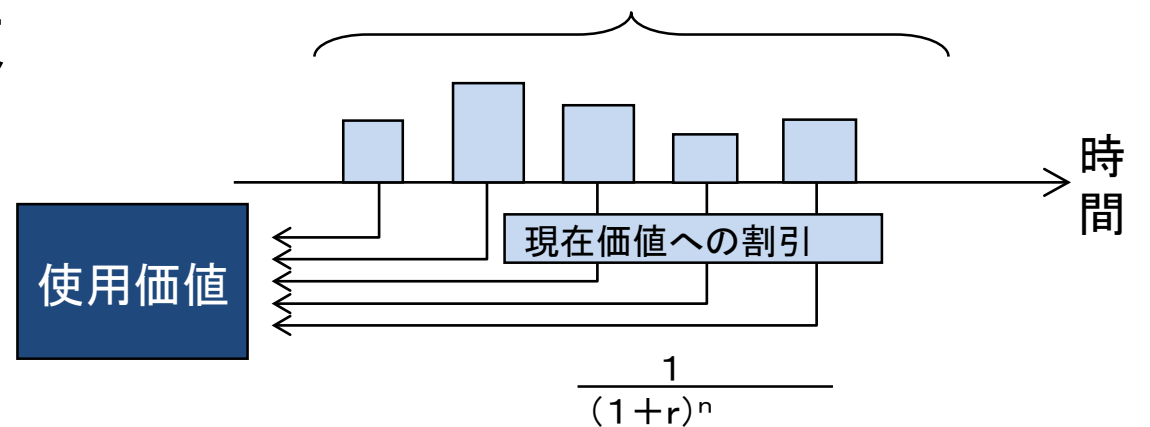
処分コスト控除後の公正価値

資産の公正価値

資産処分に直接起因する増分コスト

市場参加者の観点から算定
~~経営者の意図~~

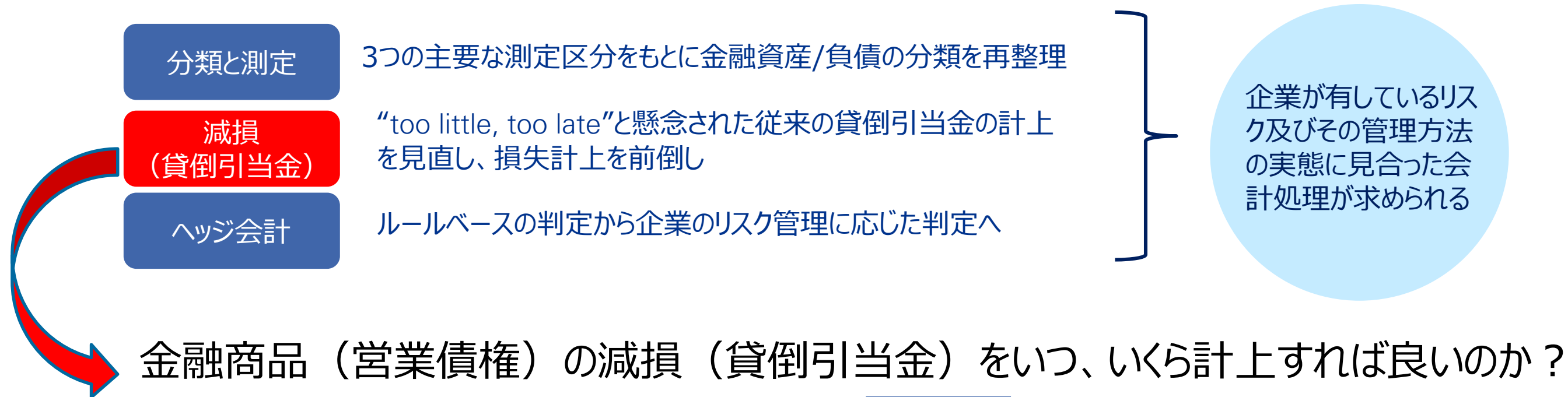
除却・撤去費用
~~財務費用・税金等~~



割引率は、貨幣の時間的価値および市場参加者が考慮するリスクを反映したもの

金融商品会計 主要トピック

金融商品会計は、リーマンショックを受けて金融危機対応の一環として、IAS39が広範囲にわたり改訂されました。
主要トピックは以下の3つです。



減損の認識と測定の論点について解説します。



金融商品会計 売掛債権の信用毀損の証拠及び損失見積

信用毀損の証拠の例示

- ✓ 債務者の重大な財務的困難
- ✓ 債務不履行・延滞のような契約違反
- ✓ 債務者の財務的困難に起因する債務者への譲歩
- ✓ 債務者が倒産又は債務整理する可能性が高まったこと
- ✓ 財政的困難によってその金融商品の活発な市場が消滅したこと
- ✓ 既に発生した信用損失を反映して金融資産を購入又は組成したこと

≡個別引当事象

予想信用損失の見積り

企業は様々なアプローチを使用できるが、見積りには以下を反映する必要がある

- ✓ 偏りが無い、発生確率で加重平均した金額
- ✓ 貨幣の時間価値
- ✓ 過去の事象、現在の状況、及び**将来の経済状況**に関する合理的かつ裏付け可能な情報

反証可能な推定とはいえ、

30日延滞で
ステージ2

90日延滞で
債務不履行
ステージ3

厳しいですね。。。

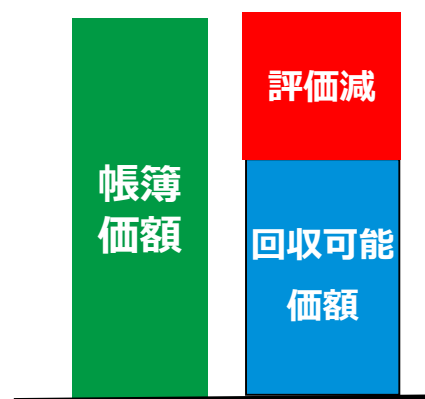
IFRS9は早期の減損（引当計上）
を要求している

金融商品会計 資本性金融商品（株式）の減損

COVID-19による被投資会社の業績悪化により、保有する株式の減損損失を計上しなければならない可能性があります。

NPAEs 117号

投資先の財務状況の悪化が一時的ではない場合、回収可能価額まで減損する必要がある。



- ✓ 投資先の財務状況悪化が一時的かどうか？
- ✓ 実質価額が帳簿価額の50%を下回らなければ減損不要？
- ✓ 回収可能価額をどう算出するか？



IFRS9の下では、資本性金融商品（株式）は公正価値で評価されるため、減損は生じない
なお、子会社株式・関連会社株式は、IAS27号「個別財務諸表」及びIAS28号「関連会社に対する投資」が適用される

退職後給付会計 早期退職制度の割増退職金等の認識要件

解雇給付に係る負債および費用は、企業が当該申し出を撤回できなくなったときに認識します。

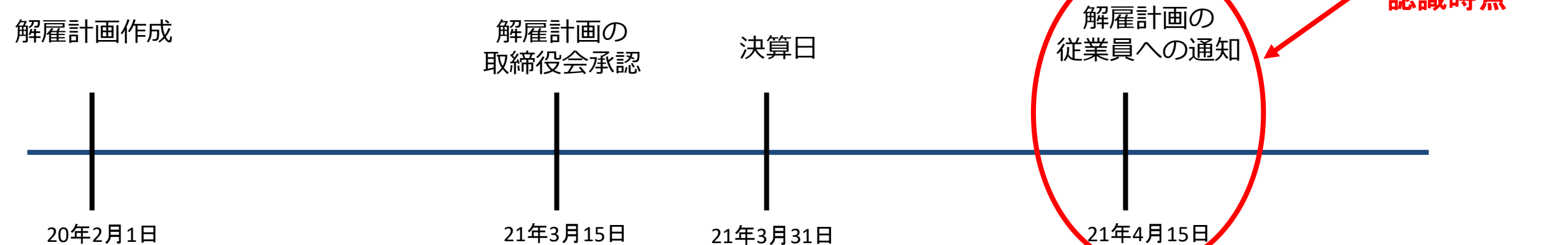
撤回できなくなるのは、次のすべての要件を満たす解雇計画を**影響を受ける従業員に通知した時以降**。

その計画を完了するのに必要な行動、計画の重大な変更が行われる可能性が低いことを示している。

その計画が以下の事項を特定している。

- 雇用を終了する従業員の数
- 職務や職階ならびに勤務地（ただし、個々の従業員を特定する必要がない）
- 予想される計画の完了日

その計画が、従業員が受ける解雇給付を十分に詳細に定めていて、従業員自らの雇用が終了した場合に受け取る給付の種類と金額を算定できる。



退職後給付会計 退職給付債務の再計算

タイでは年金数理計算のレポート（アクチュアリーレポート）で3年分の予想退職給付債務額を入手し、その数字を使用する実務があるが、昇給率・離職率の変化、割引率の変動が見受けられる場合は、年金数理計算を再計算する必要があります。また、再計算によって発生した数理計算上の差異はIFRS上、その他包括利益で計上される。

純利益およびその他の利益計算書

収益
.....
勤務費用・利息純額
.....
当期利益
再測定
.....
その他の包括利益

財政状態計算書

資産	負債
.....
.....
.....
.....	資本
.....	利益剰余金
.....	その他の
.....	包括利益累計額

数理計算上の仮定の変動による数理計算上の差異は純利益には影響しない。



タイ国会計基準（NPAEs）ではその他の包括利益（Other Comprehensive Income）がないため、数理計算上の差異についても、販管費等の費用科目で計上される。

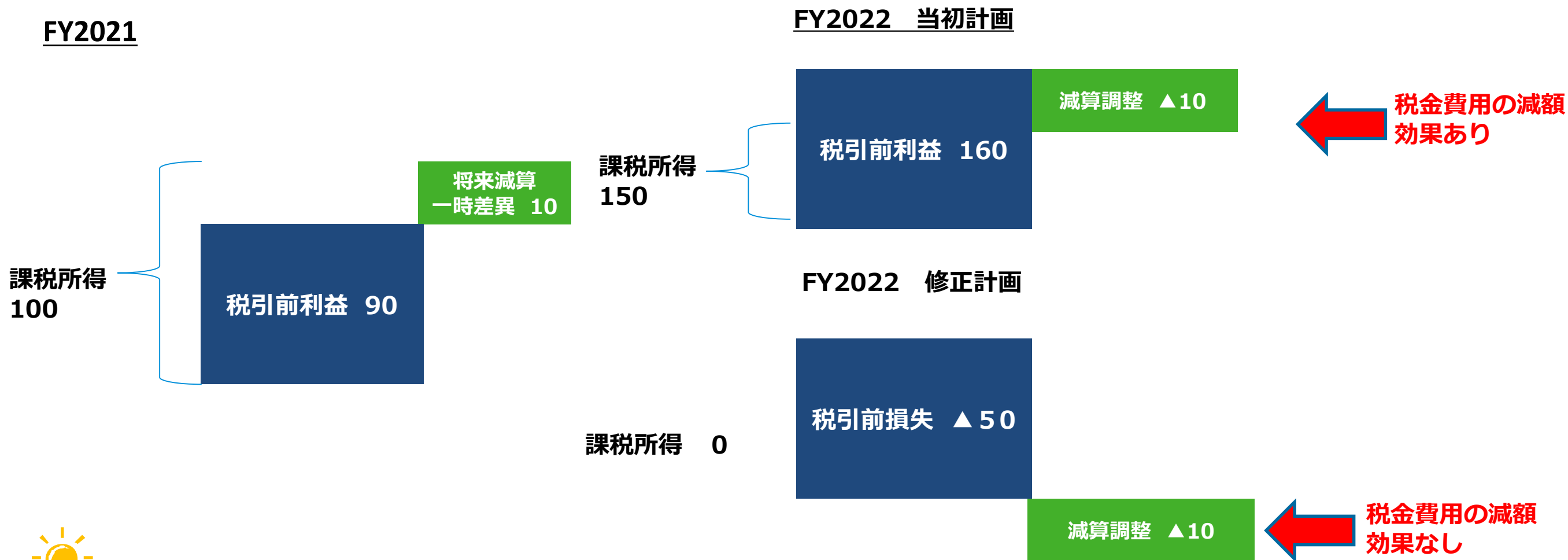
税効果会計 しくみ

税効果会計とは、会計上の利益に見合った税金費用が計上されるように、「企業会計」と「税務会計」の違いを調整し、適切に配分する会計処理を言います。



税効果会計 繰延税金資産の回収可能性

繰延税金資産は将来、税金費用を減額する効果がある場合に資産計上されます。事業環境の変化等により将来の課税所得が十分に見込めない場合は繰延税金資産を回収可能額まで取り崩す必要があります。



繰延税金資産の回収可能性の判断は、翌単年度の課税所得のみではなく、将来数年度の課税所得に基づき判断します。今回のコロナ不況のように、多額の繰越欠損金の発生等、収益が著しく悪化した場合は将来の事業計画の実現可能性も含め、より慎重に検討する必要があります。



home.kpmg/th



Twitter: @KPMG_TH
LinkedIn: linkedin.com/company/kpmg-thailand
Facebook: facebook.com/KPMGinThailand
YouTube: youtube.com/kpmginthailand
Instagram: instagram.com/kpmgthailand

The information contained herein is of a general nature and is not intended to address the circumstances of any particular individual or entity. Although we endeavor to provide accurate and timely information, there can be no guarantee that such information is accurate as of the date it is received or that it will continue to be accurate in the future. No one should act on such information without appropriate professional advice after a thorough examination of the particular situation.

© 2021 KPMG Phoomchai Holdings Co., Ltd., a Thai limited liability company and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization..